



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 319名

令和8年5月号 令和8年5月1日発行



共に育てる～義務教育9か年を見通して～

～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 桜町小の子 ～



校長 齊藤 敦史

新年度が始まり、1か月が経ちました。さくらっ子の皆さんは、毎日張り切って登校し、元気に学校生活を送っております。1年生にとっては初めての小学校生活。最初こそ、学習準備や給食の片づけに時間がかかっておりましたが、慣れてくるとペースをつかみ、今やもう、他の学年とほぼ同じ速さで手際よく行うことができるようになりました。また、6年生は、登校時だけでなく給食や清掃の時間など、様々な場面で下級生を手伝い、最高学年の自覚と責任が少しずつ見られるようになってきました。どの学年の子も日々の成長を実感できた、そんな1か月でした。

さて、本校を含む鳩ヶ谷中学校区3校では、昨年度より『義務教育9か年を見通した、小小・小中連携教育～心理的安全性の確保をめざして～』の取組を推進しております。本校の子供たちが期待に満ちて次の学びの場へと進み、充実した中学校生活を送る等連続した成長を遂げていくためには、学校段階を越えた連携『繋がり』が極めて重要と捉えたためです。具体的には、教員同士の交流や研修による指導力向上・指導基準の統一化、また、鳩ヶ谷小の児童や鳩ヶ谷中の生徒との多くの交流活動(見学、体験、交流会等)を通して、新たな友情や堅い信頼関係を育み、一人ひとりの心理的安全性、つまり『安心感』を醸成してまいりました。

こうした「9年間を見通した」取組により、学習面(学習のつまずき)はもとより生活面や人間関係(結果、不登校など)においても、子供たちの不安を解消し、安心して何事にも前向きに取り組むことができる、より豊かな成長へと繋げたいと考えております。

昨年度実施した際、参加した児童からは「楽しかった」「中学校が身近に感じた」「鳩小にも友だちができた」等々、いずれも嬉しい感想をいただきました。これらの言葉も励みにしつつ、今年度は(本校教育の特徴でもある「教科担任制」や「学校行事の充実」と共に)『中学校区における小小・小中連携教育』を力強く推進し、さくらっ子一人ひとりの可能性を大切に育ててまいりたいと思っておりますので、ご家庭におかれましても「学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ さくらっ子」へのご理解・ご協力、そしてご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ところで、明日から大型連休が始まります。4月の1か月間、新しい環境の中で、気持ちを新たに頑張ってきた子供たちにも、そろそろ疲れが出始める頃です。貴重な連休にご家族でお出かけするのもよいですが、心身ともに疲れた身体をゆっくりと休めることも含めて、この連休を有意義に過ごしていただきたいと思っております。

連休明けからは、いよいよ各教科の学習も本格的になり、県・市がそれぞれ実施する学力学習状況調査も予定されております。4月の疲れを癒しつつ、事故ゼロ、怪我や病気もゼロを目指して、安全かつ楽しい連休をお過ごしください。連休明けに、元気いっぱい、笑顔あふれるさくらっ子たちに会えることを楽しみにしております。